

第 17 回 ゆうすい会 総会

平成 20 年 3 月 9 日 (日) 午後 5 時より、Via701 (本町) において、三島ゆうすい会第 17 回総会が開催されました。

塚田冷子会長の挨拶の後、来賓の小池政臣三島市長、八木三雄三島市議会副議長からの挨拶がありました。次に議案の審議、質疑応答が行われ、昨年度と今年度の事業・会計報告が承認されました。そし



総会の様子

て、「宮さんの川・夫婦水車」設置に協力された住友林業株式会社静岡支店沼津営業所様、竹下建設様に感謝状が贈られました。



感謝状の贈呈

議長を青木利治理事、議事録署名人を中西康德理事、柴原俊介理事が務めました。議案説明事業報告関係を秋山峰治事務局長、決算・予算関係を大村洋子理事、議事録の作成を宇水勉理事が行いました。

総会に続き、元社団法人三島青年会議所理事長の山岡修一氏による講演会と映画「わが街三島-1977年の証言-」(監督:五所平之助、出演:小出正吾、窪田精四郎、大岡信、五所平之助ほか)のビデオ上映が行われました。「三島の



総会後の講演会

水の復活の歴史」と題した講演では、三島湧水を守る会会長として三島湧水の危機にいち早く取り組んだ故窪田精四郎氏、「わが街三島-1977年の証言-」を制作した三島市民サロン、三島の水の危機を市民に訴えるとともに三島の未来像を提案し、新たな水辺づくりを推進した(社)三島青年会議所、大きな動きとなった水辺プロムナード委員会の活動などが紹介されました。湧水に対する三島市民の思



なごやかな懇親会のひととき

いの積み重ねがあり、現在の三島の水辺の姿になっていることを強く感じさせられるとともに、山岡氏の「しかし、湧水の本質的な部分はどうなのだろうか」という言葉が心に残る講演会となりました。

続く交流会は、峰田武三島市観光協会会長の挨拶ではじまり、なごやかな雰囲気の中、参加者一同、水談義に花が咲き、楽しい交流のひとときとなりました。



「水辺の写真展(第1回)」も会場内に展示され好評

「第2回三島市ボランティアフェスティバル」

平成 19 年(2007) 11 月 3 日(土・祝) 11:00~16:00 に、三島市民活動センター 4F の第 3 会義室と交流スペースで、第 2 回三島市ボランティアフェスティバルの一環として、団体の活動の様子が展示パネルで紹介されました。

これは、三島市内で活動する 31 の NPO 法人やボランティア団体が、それぞれの活動内容を展示することによって、相互の活動を理解し、幅広い交流を期待するものです。三島ゆうすい会でも、第 1 回に引き続き、展示コーナーに写真パネルによる活動紹介をして、会の PR に努めるとともに、他団体の方々とも交流を深めました。



「第2回三島市ボランティアフェスティバル」の会場で小松幸子副会長と大村洋子理事

水の学習に講師派遣

3 月 14 日(金)、錦田小の 5 年生 4 クラス(児童 121 名先生 4 名)の 5 時間目の合同授業を依頼され、小松幸子副会長が「湧水マップ 2007」を携えて出かけました。社会科の教科書に京都の川で似た事例が出ていたので、源兵衛川にきれいな湧水が戻った話をしてほしいということでした。

「源兵衛川の水質は、どんなですか?」などと質問され、児童の関心の深さに驚きました。

「七草がゆの集い」

2008年1月7日(月)、恒例の七草がゆの集いが塚田冷子会長宅の庭で開催されました。

塚田会長より七草の効能や七草がゆの由来を聞き、コールロベリアの歌声に合わせて七草を細かく刻みました。

泉町の女性や知り合いの多くの方により七草がゆが持ち寄られ、

好天の中、80数名の参加者はコールロベリアの歌う童歌や「水よ輝け」を聞きながら七草がゆをいただきました。



コールロベリアのきれいな歌声

今年は朝日新聞、静岡新聞、TOKAI TV等の取材も多く、「広報みしま」2月1日号にも紹介されました。



寒い中大勢の人が集まって

<今年のエピソード>

七草がゆの集いの前日、三ツ谷の内藤さん宅へ七草を分けて貰いに出かけました。塚田会長と大村洋子理事が事務局



おいしさも回を重ねるごとに

長の秋山峰治宅へ向かいましたが、道を一本間違えて(今年もまた)すんなり辿り着くことが出来ませんでした。朝のテレビ小説「ちりとてちん」の主人公よろしく、何かが起こると思っ

「水よ輝け！三島の水辺・写真展」

「水よ輝け！音楽祭」「水よ輝け！映画祭」につづき「水よ輝け！三島の水辺・写真展」が2007年12月1日(土)～7日(金)まで、「水よ輝け！三島の水辺・写真展PART2」が2008年2月9日(土)～15日(金)まで開催されました。

募集を始めた頃は、作品が集まってくるのだろうかと不安な気持ちで待っていました。日が経つにつれたくさん作品が寄せられ、36人もの方から応募がありました。それぞれの作品には、水に対する思いが込められていて、絵葉書にしたいよ

うなすばらしい作品ばかりでした。また、三島市内には、こんな水辺の風景があるのだということ

を改めて感じるほどでした。午前11時からの記念品贈呈式では、参加者一人ひとりが写真にまつわるエピソードを述べながら意見交換もして、和やかな雰囲気になりました。

2007年12月の写真展PART1の好評を受けて、2008年2月には、PART2が開かれました。特別展として3人の方の写真が展示されました。プロのような腕前で、訪れた人は、心を癒されているようでした。

コーナーには、感想ノートを置き、約50人の方からメッセージを寄せてもらいました。「昔の三島市はどんな風景だったのか、水辺の美しさは今とどう変わっているかなどいろいろ考えてしまい心がうるおいました」「期待以上の作品



感想ノートと写真展準備の様子

を拝見させていただきとても良い気持ちです。みなれた風景がこんなに感動的な場面になるとは！！ありがとうございます」

「思いもよらないところで『ゆうすい』の写真にまた会えました。いつ見ても、何回見ても心和む写真ですね」…などなど。

水辺を愛する人たちの思いと一緒に鑑賞できたことは、三島ゆうすい会にとっても、大変なよろこびでした。



展示の準備も無事に終わってほっと一息、パチリ

ゆうすいあれこれ

水環境講座 ダムのはなし

函南町の函南さくら保育園において、10月1日(月)10時、年長組37園児に水の大切さとダムについて、ビーバーのアニメーションを上映し、小浜修一郎理事が分かりやすく説明をしました。

講座終了後、ペットボトルを使った園児手作りの「たこロケット」には名前を入れました。やがて園庭に出て、水ロケット発射台から空高く飛ばしました。「5・4・3・2・1・ゼロ、発射！」



水ロケット発射！

の掛け声で、水を入れ空気を入れてあるペットボトルの手作りロケットの発射レバーを引き、空高く打ち上げる・・・園児の大歓声と拍手で全員の水ロケット発射が終わり、1人ひとりにペットボトルで手作りした風車をプレゼント・・・大喜びの園児たちはグラウンドを走り回っていました。

「よ〜くかんがえよ〜みずはだいじだよ・・・おみずしゃぶしゃぶ・しゃぶりむし たいせつにしよう・・・」

「遊水匠の会」の、江上さん、上村さん、安室さん、小浜理事のみなさんでした。

協賛 三島ゆうすい会

三島梅花藻の里防護ネット設置

今年も正月、カルガモ夫婦が巣作りに三島梅花藻の里に舞い戻ってきました。しかし、カルガモがミシマバイカモの新芽を食べるため、取り外しの出

来る防護ネットを敷設することにしました。三島梅花藻の母連の願いである緑のじゅうたんを



防護ネットを施した三島梅花藻の里

市民の皆さんに見ていただきたく、カルガモの巣作りにも想いを馳せ、共存の里にしたいという願いを込めて汗を流しています。

「家庭円満の夫婦水車」の

リニューアル完了

宮さんの川、塚田医院の前にある夫婦水車も7年が経過し、2006年3月にお父さん水車、子供水車、2007年11月にお母さん水車と子供水車と、夫婦と子供2人になり無事にリニューアルを完了しました。この夫婦水車は、今や三島市のせせらぎ観光スポットの1つとなり、新婚さんが家庭



リニューアル完成した水車の前で

円満のシンボルとして記念撮影する場面も多くなりました。TVドラマのロケ地ともなり、今や無くてはならぬ三島市民の癒し空間のシンボルとなりました。これも会員の皆様の強い想いの賜と感謝申し上げます。

今回のリニューアルには、下記の企業の皆様のご協力をいただきました。三井住友建設株式会社静岡支店、住友林業株式会社静岡支店、伊豆木工株式会社、竹下建設、安室電気、広川建設様。

其々の会社に様を付けなくても可？

「三島梅花藻の里」の防護ネット、夫婦水車のリニューアルは三島ゆうすい会の「水の活用」事業として行っています。

山田中の1年生 ホタルの学習

11月15日(木)、三島市立山田中学校1年生がグループに分かれて調べ学習を行いました。

三島ゆうすい会へは、佐野文美さん、藤田末友さん、米山美貴さんの3人が「ホタルの一生」について学びに塚田邸を訪れました。

講師の塚田冷子会長、大村洋子理事からホタルの成長や特徴について説明を受け、実際に幼虫を見学しました。

3人はゲンジボタルがどのように育っていくのかを知って、「三島の環境や水を大切にしたい」「初めて分かったことがあってよかった」「説明が丁寧で分かりやすかった」と感想を述べていました。

ホタルの成長を詳しく説明

中郷中学校フィールドワーク

にて三島ゆうすい会訪問

11月2日(金)、中郷学校生徒13名が、ホタルの生態、ミシマバイカモ、源兵衛川の勉強にきました。塚田会長より詳細な説明を受け、自然の観察、自然の大切さ、保存の苦勞、それらを継続することの大切さを学び、感銘を受けて、帰宅しました。後日全員から丁寧に礼状が届きました。



ち

水の学習イベントへ出かけませんか？

★南アルプス井川山林探索 (二軒小屋ロッジ泊)
日頃は訪れることの出来ない井川山林へ水と緑を求め
る旅を行います。滅多に行けない所ですから、ぜひご
参加ください。

- ・日 時 2008年6月21(土)～22日(日)
- ・参加費 およそ1万5千円(車の相乗りのガソリン代を含む)
- ・行き先 右地図参照
- ・申し込み 三島ゆうすい会事務局

★行程

三島→静岡一(県道井川湖御幸線・県道三峰落合線)→井川駅→
(県道南アルプス公園線)→畑薙第一ダム→樫島(さわらじま)
ロッジ→二軒小屋ロッジ(泊)

(所要時間:車で片道約5時間)

*参加申し込み者には詳細を通知します

*樫島(さわらじま)ロッジ:200人収容

シャワー付風呂あり、標高1120m

白簾史朗写真館があります

*二軒小屋ロッジ:48人収容

シャワー付風呂あり、標高1390m



南アルプス井川山林地図

定例の清掃予定

★いずれの定例活動も自由参加です。
ふるってご参加ください。雨天時は原則として休みです。

「定例活動(作業等)」

●宮さんの川清掃

原則として毎朝6:00～

宮さんの川集合 長靴、軍手

またはビニール手袋持参 「宮さんの川を守る会」とともに

●海兵衛川のいづみ橋から広瀬橋までの草取りなど

原則毎週土曜日、日曜日の朝6:00～

源兵衛川いづみ橋集合 長靴、軍手又はビニール手袋、草取り道具等持参

「三島ゆうすい会」有志とともに

●源兵衛川清掃

原則として毎月第2日曜日13:00～

水の苑緑地・かわせみ橋集合 長靴、



軍手又はビニール手袋持参

「源兵衛川を愛する会」とともに

●桜川清掃

原則として毎月第1土曜日10:00～

白滝公園集合 長靴、軍手又はビニール手袋持参 「桜川を愛する会」とともに

●三島梅花藻の里保全活動

原則として毎月第2日曜日10:00～

三島梅花藻の里集合 長靴、軍手又はビニール手袋、草取り道具等持参

会費・ご寄付・資機材支援

●新規ご入会(敬称略)

柴原英子 細野セツ

窪田紀江 山本清子

●ご寄付

高橋佳代子様

匿名ご希望者



●会費ご入金

本年度会費(平成20年度分)の納入

にご協力賜りますよう、よろしくお願
い申しあげます。(詳しくは同封の案内
をご覧ください)

★未納の方は、いずれかの口座へご入
金くださいますよう、よろしくお願
い申し上げます。

(年会費金額)

・正会費 3,000円

・賛助会費1口 10,000円

(お振込み先)

・郵便振替 0840-4-118192

加入者名:三島ゆうすい会

・静岡銀行三島支店

普通預金 No. 0346532

・スルガ銀行三島セントラル支店

普通預金 No. 572969

・三島信用金庫西支店

普通預金 No. 1042399

口座名:三島ゆうすい会

会長:塚田冷子

